

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

評価結果

■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	海田市(6)隊舎新設工事	階数	地上4F
建設地	広島市安芸区矢野町4220 広島県安芸郡海田町寿町2-1	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	140 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2025年6月12日
敷地面積	1,884 m ²	作成者	谷峰 崇郎
建築面積	551 m ²	確認日	2025年9月20日
延床面積	2,178 m ²	確認者	深和 岳人

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.3 ★★★★★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.7</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.8</p>

LR 環境負荷低減性		
<p>LRのスコア = 3.7</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.3</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5</p>

3 広島市の重点項目		
<p>重点項目の総平均スコア = 3.5</p>		
<p>「地球温暖化対策」の推進 スコア = 3.9</p> <p>設計の計画 upper 特段に配慮した事項 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当を超える水準である。/ 特になし。/ [BEI][BEIm] = 0.76 / 特になし。/ 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。/ ライフサイクルCO₂排出率49%</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進 スコア = 2.0</p> <p>設計の計画 upper 特段に配慮した事項 特になし。/ 特になし。</p>	<p>「長寿命化対策」の推進 スコア = 3.4</p> <p>設計の計画 upper 特段に配慮した事項 建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。/ ケーブルラック内配線仕上材を痛めずに更新・修繕ができる。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される